

第17回CPC

感染性心内膜炎が疑われ、 多臓器不全を来した1例

症 例：70歳代 女性
主 訴：背腰部痛、全身倦怠感、発熱
既往歴：家族性高脂血症、橋梗塞、僧帽弁閉鎖不全症
現病歴：感染のfocusは不明であったが、敗血症として抗生剤を投与された。しかし症状、検査値に改善なく、突然の腹痛、貧血の進行、ショックを認め、全経過3週間で、永眠された。

(下図は剖検時の心臓の肉眼像)



ミニレクチャー

事例で学ぶ感染症診断の基本

講 師： 馬場 尚志 准教授 (臨床感染症学)

CPC(臨床病理検討会)は病理解剖症例をもとに、私たちの医療行為を振り返り、医療の質の向上をはかることを目的とする勉強会です。研修医、各科医師はもちろん、学生、全職員、院外の先生方にも参加いただけます。

開催日：平成23年10月19日(水)
時 間：17:30~19:00
場 所：病院本館C41講義室
司 会：中島 日出夫先生(腫瘍内科学)
安田 幸雄 先生(医学教育学)

参加し、勉強しましょう！！

主催：金沢医科大学病院CPC実施委員会

連絡先：病院病理部(内線 5348)